

一般社団法人 恵那青年会議所

2024年度 基本資料

目次

2024年度	理事長基本方針 保母 達則	1
	理事長所信	2
2024年度	一般社団法人恵那青年会議所 役員委員会組織構成図	7
2024年度	一般社団法人恵那青年会議所 年間スケジュール	8
2024年度	一般社団法人恵那青年会議所 役員名簿	9
2024年度	出向者一覧	10
2024年度	賛助会員名簿	10
2024年度	副理事長・専務理事 基本方針	11
	副理事長 瀨瀬 駿	11
	副理事長 古屋 一郎	11
	専務理事 山本 悠介	12
2024年度	委員会基本方針及び事業計画	13
	地域デザイン委員会 委員長 西谷 伊代	13
	青少年共育委員会 委員長 山村 啓太	16
	事務局 事務局長 繁澤 あゆみ	19
	会員拡大・アカデミー実行委員会 実行委員長 山田 健人	22
2024年度	担当監事割振り表、クラブキャプテン名簿	25
2024年度	一般社団法人恵那青年会議所 委員会職務分掌	26
2024年度	正味財産増減補正予算書	28
	一般社団法人恵那青年会議所 歴代理事長	31
	社団法人 恵南青年会議所	33

2024年度 理事長基本方針

一般社団法人恵那青年会議所

2024年度 理事長 保母 達則

一般社団法人 恵那青年会議所 2024年度 スローガン



人を想う

～利他の心で未来を切り拓く～

基本方針

- ・ 持続可能な地域をデザインする
 - ・ 未来を担う青少年の共育
 - ・ 共鳴の輪を広げる会員拡大
 - ・ しなやかな組織運営
 - ・ 心に届く広報活動
 - ・ 未来に向けたひとづくり

理事長所信

【はじめに】

戦後間もない1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、有志による東京青年商工会議所設立から、日本の青年会議所運動は始まりました。その9年後、全国で145番目の青年会議所として恵那青年会議所は誕生し、66年間もの間、地域の課題を解決すべく様々な運動を展開してきました。長い歴史の中で恵那青年会議所には、人が育つ文化が根づいています。そこで得た成長は、他者を思いやる心を生みだし、やがては公に身を尽くすようになります。私自身、恵那青年会議所に入会して、意識が向上した一人です。この文化こそ、途絶えることなく続く恵那青年会議所の最大の価値であり、「明るい豊かな社会」を目指す長い歴史の中で、先輩諸氏に築いてきていただいた大切な資源です。だからこそ私達は、この資源をしっかりと受け取り、自らの成長に昇華させ、地域に還元する責務があります。そして、この文化を次の世代へとつなぎ、他者を思いやる心に富んだまちづくりの担い手を地域に輩出し続けていくことこそ、明るい豊かな社会を目指す私達恵那青年会議所の使命であると考えます。

青年会議所は、自らを成長させてくれる場所であり、いつの時代であっても青年らしく情熱をもって、何事にも挑戦できる機会を与えてくれます。そうした機会の中で、会員一人ひとりが目的を共有し、参画するという意識をもって活動することが必要です。強い参画意識は必ずや自身に成長をもたらします。その成長が、組織の発展につながり、他者を思いやる心に富んだまちづくりの担い手を地域に輩出し続けていく好循環を生み出します。本年度、様々な機会を学びの場として捉え、会員一人ひとりの成長と組織の発展を強く結びつけることで、明るい豊かな社会を切り拓く、力強い運動を展開してまいります。

【持続可能な地域をデザインする】

2021年、日本のデジタル社会実現の司令塔としてデジタル庁が発足して以来、社会全体のデジタル化はより一層進化しています。非対面でのコミュニケーションツールの利用も広がり私達の仕事は効率化されました。デジタル化は国民生活の利便性を向上させる大きな可能性を持っています。しかし、その一方で人と人とが直接コミュニケーションを取る機会は減っており、人と人、人と地域とのつながりが希薄化しています。人と地域とのつながりの希薄化は、地域を想い行動する人が減るということです。このことは、地域社会において様々な場面で暮らしやすさに影響します。私達は市民が手を取り合い、助け合える人間関係を普段から意識して築いていかなければなりません。地域に対しての意識を高め、活力を上げていくためにも、人と人とが支え合い、地域とともに「暮らす」という未来をデザインしていくことが必要です。

コロナ禍によって生活様式が大きく変わり、デジタル化が当たり前となってきた社会において、今一度、ここに暮らす人々が人と人のつながりを大切にし、ともに助け合う意識をもって生活できれば、今よりもっとこの地域に愛着が湧いてきます。大切なのは私達が暮らすこの地域を、住んでいる人々が大切に思い、持続可能な地域へと変えていくことです。私達は、市民が自分らしく住み続けられる理想郷をデザインし、実現していくための運動を展開してまいります。

【未来を担う青少年の共育】

近い将来、今の青少年達が地域の未来を担っていきます。次代の担い手が存在しなければ、次々に生まれる課題を解決し持続可能な地域を創っていくことができません。そして、未来の地域を創っていく人財となるためには、地域の現状を知り、郷土を愛する心を持つことが必要です。私自身、恵那で育っていないからこそ、この地域の雄大な自然と資源、そして地域を愛する人々がいることの素晴らしさを知っています。自らが住む地域の魅力に気づきその価値を見出すことで、大人になる過程において自分も地域を創る一員であるという意識が芽生えていきます。小さなコミュニティでも常に子供達の未来のために団結して行動する姿を身近に感じながら育っていくことで、大人になった時、青年として自らが住み暮らす地域のために行動することができます。私達の果たすべき役割は、一人でも多くの青少年が郷土を愛し、地域に誇りを持って未来のために一歩踏み出せるきっかけを創出することで、地域の未来を明るくすることです。

私達は地域とその未来を担う青少年に本気で向き合い、この地域に住む人々が未来を創る当事者であるという意識を醸成し、「共に育んでいく」ことで地域を持続可能なものにしていきます。

【共鳴の輪を広げる会員拡大】

恵那青年会議所が持続的に発展を遂げてゆくためには、会員一人ひとりの成長はもとより、絶えず多くの同志を募る必要があります。卒業までに限りがある青年会議所は、少しでも会員の拡大を疎かにすると、瞬く間に組織の存続危機に陥ります。しかし、役割の人員不足、組織の存続などという側面だけに捉われていると、拡大活動を運動へと昇華させることはできません。地域にまちづくりの担い手を絶え間なく輩出し、明るい豊かな社会の実現に向けて寄与し続ける青年を増やすことにこそ、私達の拡大運動の本質があるのです。そのために必要なのは、いかにして人との共鳴を起こせるかです。遠いアメリカの地において、この社会は青年が真に活躍すべきであるという一人の青年の志から青年会議所の運動は始まりました。以降、その志が共鳴の連鎖を生み、多くの人の心を行動へと動かしたことで、今の青年会議所が存在しています。揺るぎない志を持ち、ひたむきに取り組む人の姿は、美しく反響し、やがては周りの人々の心を震わせます。その響きを、組織、そして地域に広げていくことで、あらゆる垣根を越えた、共鳴型の拡大運動へとつながっていくのです。会員全員で共鳴を起こし、同志を募っていきましょう。それが、次代に引き継いでいく私達の責任です。

【しなやかな組織運営】

長い歴史の中で継承されてきた厳格な運営と、お互いを支え合う会員の強い仲間意識があるからこそ、私達青年会議所は積極的な運動を展開できるのです。秩序があるからこそ、私達は組織の中で成長することができ、互いの想いを共有できるからこそ、一丸となって運動を推し進めることができます。この厳しさと思いを備えた組織運営はとても強固なものですが、同時に時代の変化に柔軟に対応し、新たなことに挑戦をしていかなければ組織は衰退してしまいます。現在、恵那青年会議所には多様なメンバーが在籍し、それぞれが貴重な時間を使って参加しています。だからこそ、改めて時間の大切さを認識し、時間対価値を最大限に高めていく、そんな組織運営が求められます。ここ数年で社会のあり方はスピードを上げて大きく変化してきました。特に、情報の発信、受信、共有に関しては日進月歩です。常に新しい技術や手法に意識を向けて、組織に提案し、実用化していくことで、柔軟な運営の実現と、恵那青年会議所の運動のさらなる活性化を図ります。会員間の交流を通じて、組織を想う気持ちを養い、心の通った組織運営を。そして、厳しさと思いを、さらには新しさを兼ね備えた、しなやかな組織へ進化してまいります。

【心に届く広報活動】

私達は地域のゴミを拾う団体ではなく、地域の人達がゴミを捨てないようにするにはどうすれば良いかを考え行動していく団体です。地域の明るい未来を描き、運動を起こし実現していくことを目的としています。しかし身近な人や地域の人達に青年会議所の運動の本質を理解されていない現状があります。SNSなどを駆使して発信はしているものの、媒体上での広報競争に埋もれてしまっているのではないのでしょうか。今よりもっと地域の人達の身近に、地域の方々の目線に立った広報活動を。私達の何を、どのような人に見て欲しいのか、地域の人達に伝えたいメッセージは何か。多くの目に触れる方法を考え、わかりやすく、私達の運動を発信していきましょう。そうすれば身近な人にも地域の人達にも理解をしていただけます。だからこそ事実をもっと広く、深くしっかりと伝えましょう。心が動けば行動が変わります。それは私達が行う例会・事業に対して多くの共感につながります。私達の運動の本質を地域の方々に届けることで、恵那青年会議所の価値は今よりもっと高まります。

【未来に向けたひとつづくり】

新しい風となり組織を活性化させてくれる存在であるアカデミー会員には、青年会議所運動への参加を通じて、楽しみながらその本質を知ってもらいたいと考えています。楽しいと思えることは次なる参加につながります。参加を繰り返すことで、それは参画へと変わり、恵那青年会議所の人が育つ文化に触れ、成長することができます。その成長の段階で、それぞれが大切な時間を使って参画する意義を忘れないためにも青年会議所の普遍的な理念と、時代に即したビジョンを自身の中で腑に落とす必要があります。本質を理解することで自己の成長を他のために惜しみなく活かせる人財になっていきます。組織の未来を担っていくアカデミー会員の成長と組織の発展を強く結びつけてまいります。

恵那青年会議所に所属するという事は同時に日本・世界の青年会議所会員とつながることを意味します。一方で、私達は共通した目的を有した組織であるにもかかわらず、近隣の青年会議所が行っている事業すら知らないことも多いのではないのでしょうか。恵那以外の地域の運動を知ることや、会員との交流は、私達恵那青年会議所が発展していくために必要な情報、知識そして価値観を身に付ける重要な機会です。人脈を広げることで自らの可能性を大きく広げることができるとともに、これまで触れたことのない考え方や価値観、手法などに触れることで新たな視点を得ることにもつながります。そして出向したメンバーが恵那青年会議所にその知見や学びを還元することで、私達は今よりもっと成長することができるのです。

【結びに】

私は5年程前に妻の故郷であるこの地域に移住し、何一つ人脈のない中、ただ仲間を作りたいという気持ちで恵那青年会議所に入会しました。何も解らず入会した私でしたが、気がつけば地域のために時間を費やしている。そして、ここでできた仲間と共に、地域の未来を語るようになる。移住して、青年会議所に入会して初めて、地域を創る一員になれるのだと実感することができました。そして多くの人と出会い、利他を学び、ここまで歩むことができたのだと思います。

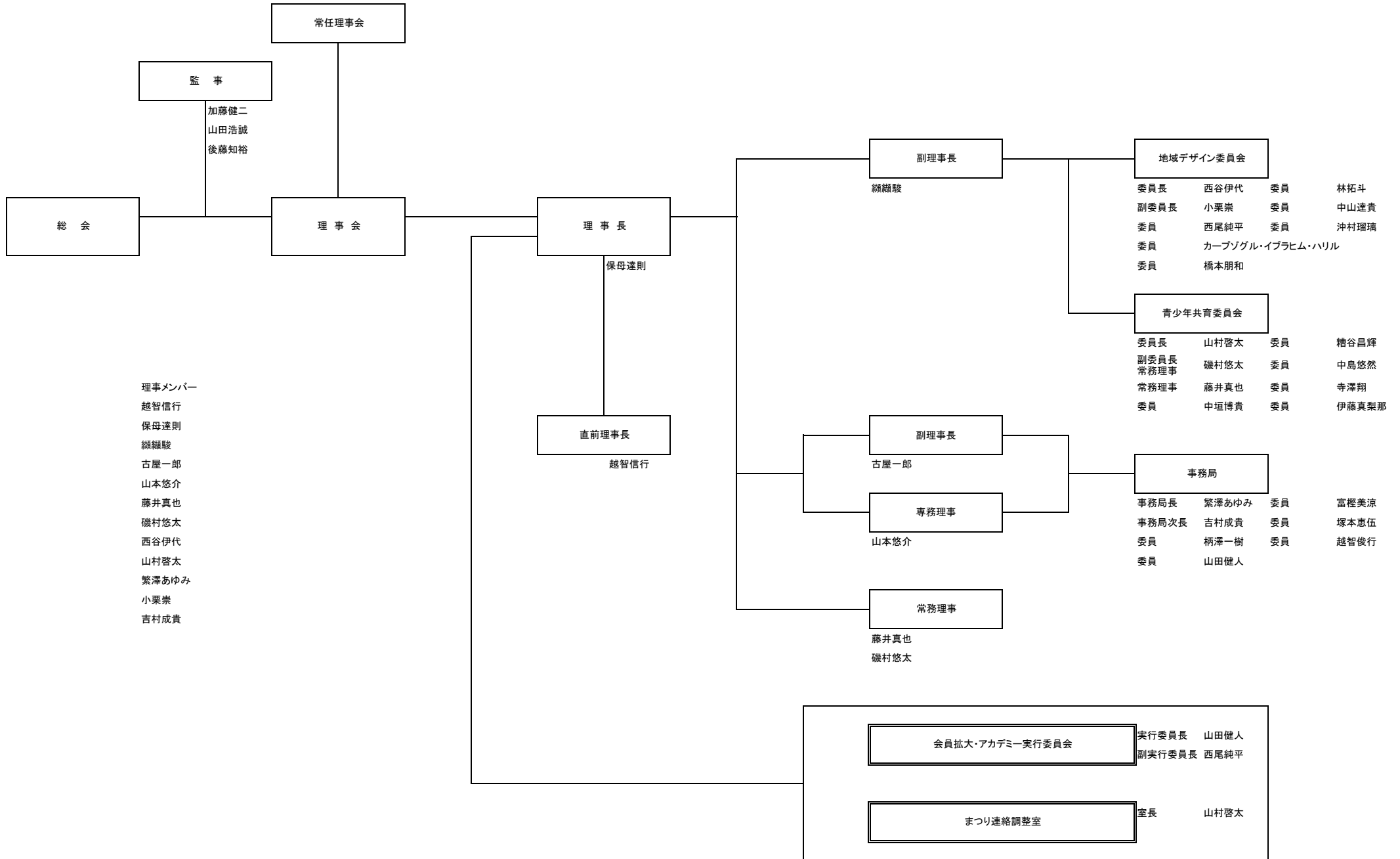
「この地域の未来をもっと明るくしたい」なぜそう思うのか。

その根本には「誰かのために」があるはずです。

人を想うことは、組織を想うこと、地域を想うことにつながります。

すべては人が起点です。

一人ひとりがそれぞれのストーリーを描き、身近な大切な人のために未来を切り拓いていきましょう。



2024年度 一般社団法人恵那青年会議所 年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JCI 日本JC	第1回総会 (京都) 1月20日(土) 京都会議 (京都) <small>18日(木)~21日(日)</small>		第2回総会 (東京) 3月23日(土)			JCI ASPAC (カンボジア) <small>6月6日(木)~6月9日(日)</small>	サマーコンファレンス (横浜) <small>7月20日(土)~7月21日(日)</small> 国際アカデミー			第3回総会 10月4日(金) 全国大会 (福岡) <small>10月3日(木)~6日(日)</small>	JCI世界会議 <small>10月30日(木)~11月3日(日)</small>	
東海地区協議会	第1回 会員会議所会議 (京都) 19日(金)						第3回 会員会議所会議 7月6日(土) 東海コンファレンス (岐阜) 7月6日(土)				第4回 会員会議所会議 11月27日(水)	
岐阜BC協議会	第1回 会員会議所会議 (東濃) 1月27日(土)	岐阜会議 2月3日(土) 会頭公式訪問 2月12日(月)	第2回 会員会議所会議 (中濃) 3月2日(土)	第3回 会員会議所会議 (飛騨) 4月6日(土)	第4回 会員会議所会議 (西濃) 5月25日(土)	ブロックアカデミー		第5回 会員会議所会議 (各務原) 8月24日(土) 岐阜BC大会2024 9月1日(日)	岐阜ブロック大会 9月1日(日)		第6回 会員会議所会議 (下呂) 11月16日(土)	
例 会	13日(土)	21日(水)	8日(金)	10日(水)	10日(金)	10日(月)	10日(水)	9日(金)	7日(土)	12日(土)	11日(月)	7日(土)
地域デザイン委員会				●			●			●○		
青少年共育委員会			●				●		●○			
事務局	○				●							●
会員拡大・アカデミー実行委員会			○			○		○				
執行部	●	●						●			●	
例会及び事業名	通常総会 新年祝賀会	2月度例会 (中津川合同)	3月度例会 LOM内アカデミー 3月28(木)	4月度例会	5月度例会	6月度例会 LOM内アカデミー 6月27日(木)	7月度例会	臨時総会 LOM内アカデミー 8月29日(木)	9月度例会 (9月度事業) みのじのみりのり祭 21日(土)~22日(日)	10月度例会 (10月度事業)	11月度例会	12月度例会 卒業例会
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
常任理事会	12月21日(木)	1月18日(木)	2月19日(月)	3月19日(火)	4月18日(木)	5月21日(火)	6月18日(火)	7月19日(金)	8月20日(火)	9月18日(水)	10月18日(金)	12月16日(月)
理 事 会	1月5日(金)	2月2日(金)	3月4日(月)	4月2日(火)	5月2日(木)	6月3日(月)	7月2日(火)	8月2日(金)	9月2日(月)	10月2日(水)	11月1日(金)	12月23日(月)

●・・・例会 ○・・・事業

2024年度 一般社団法人 恵那青年会議所 役員名簿

役 員	氏 名
理 事 長	保母 達則
直 前 理 事 長	越智 信行
監 事	加藤 健二
監 事	山田 浩誠
監 事	後藤 知裕
副 理 事 長	瀨瀬 駿
副 理 事 長	古屋 一郎
専 務 理 事	山本 悠介
常 務 理 事	藤井 真也
常 務 理 事	磯村 悠太
地 域 デ ザ イ ン 委 員 会 委 員 長	西谷 伊代
地 域 デ ザ イ ン 委 員 会 副 委 員 長	小栗 崇
青 少 年 共 育 委 員 会 委 員 長	山村 啓太
青 少 年 共 育 委 員 会 副 委 員 長	磯村 悠太
事 務 局 事 務 局 長	繁澤 あゆみ
事 務 局 事 務 局 次 長	吉村 成貴
会 員 拡 大 ・ ア カ デ ミ ー 実 行 委 員 会 実 行 委 員 長	山田 健人
ま つ り 連 絡 調 整 室 室 長	山村 啓太

2024年度 出向者一覧

協議会名	委員会名称	役職	名前
東海地区協議会	人財育成委員会	副委員長	柄澤 一樹
東海地区協議会	人財育成委員会	委員	中島 悠然
岐阜ブロック協議会	アカデミー委員会	会計幹事	山田 健人
岐阜ブロック協議会	アカデミー委員会	委員	西尾 純平
岐阜ブロック協議会	組織連携推進会議	委員	小栗 崇
岐阜ブロック協議会	岐阜ブロック大会2024実行委員会	委員	橋本 朋和

2024年度賛助会員企業一覧

株式会社 恵那三洋製作所
株式会社 エナ重機
株式会社 銀の森コーポレーション
セントラル建設 株式会社
有限会社 それいゆ
株式会社 柘植建設
株式会社 デジタ
株式会社 東海技研
西山建設 株式会社
株式会社 丸河興業
株式会社 山本急行
吉村産業 株式会社

2024年度 副理事長・専務理事 基本方針

副理事長 瀨瀬 駿

私達が「明るい豊かな社会」を目指す上で、地域に持続可能性が求められるようになり
ました。持続可能な地域となるには、青年世代である私達が、これからの社会を見据え想
像し理想を描き、実現に向かって行動を起こさなければなりません。行動原理は心です。
人と人との支え合い想い合う心、郷土を愛する心は、年齢性別問わずいつでも育まれるも
ので、地域の持続可能性を図る上で基盤となります。人を想い、地域を想い、率先して行
動する人々の姿を認知・共感することで、想いは紡がれ心は育まれていきます。地域を想
う人々の行動が青少年に共鳴し、自らが地域の未来を担う人財の一人だと感じることで
できれば、持続可能な地域への大きな一歩となります。

私達が暮らすこの地域を想う人々と、住み続けられる理想郷を想い描き、一人でも多くの
青少年が地域に誇りを持てる未来を実現していくために取り組んでまいります。

副理事長 古屋 一郎

恵那青年会議所が組織として、時代に合わせたしなやかな運営を行っていくためには、組
織が会員一人ひとりを想い、会員一人ひとりが組織を想い、双方向に想い合っていく必要が
あると考えます。

会員の貴重な時間を使う以上、その時間に最大限の価値を持たせていくために、様々な手
法を取り入れていく必要があります。取り入れられた新しい手法は、執行部が秩序を示し、
執行部が連携をして運用を行ってまいります。新しい手法のもと、経験の浅い会員達も持て
る力を最大限に発揮することができるようになります。多様な会員が活躍する姿を通じて、
青年会議所運動に対する市民の共感が生まれ、私達会員だけでなく、恵那市民にとっても恵
那青年会議所の価値が高まり、恵那市にとってなくてはならない組織になると確信してい
ます。

会員一人ひとりが人を想い合う運動や変化を生み出していける、しなやかで強固な組織
を目指して、1年間邁進してまいります。

恵那青年会議所には長年運動を続けてきた中で人が成長できる文化が根付いています。そして、この文化を次の世代へとつなぎ、組織として持続的に成長をする必要があります。

組織の持続的な成長には会員の成長が不可欠です。秩序の中で創意工夫することは成長につながり、「人を想う」ことで個人の成長が組織の成長につながり、組織として発展すると考えます。そして、組織の発展は地域のことやそこに住む人達のことを考えて行動のできる人財の輩出につながり、地域の明るい豊かな社会の実現に貢献します。会員間で人を想い合うことは活動や運動への参画につながり、会員があらゆる成長の機会を得ることができます。組織の持続的な成長のためにも会員が活動や運動に参画しやすい組織運営に尽力してまいります。

「人を想う」ことを軸に柔軟かつ秩序を守った組織運営を行い、参画意識を高め、会員一人ひとりの成長と組織の発展につなげてまいります。

2024年度 委員会基本方針及び事業計画

地域デザイン委員会

委員長 西谷 伊代

【基本方針】

持続可能な地域とは、地域に暮らす人達が地元を誇りに想える、魅力あるまちであることです。より魅力あるまちにするためには、人や地域を想える人が地域全体に広がるのがとても重要です。人や地域を想える人が増えれば、互いに個性を尊重し合うことができ、自分らしくいられることで居心地よく安心して暮らせます。自然豊かで歴史ある美しいこの地域の魅力を、地元を誇りに想い地域に暮らす人から人へと心を込めて伝えることで、地域の財産を再確認することができ、理解もより深まり、地域への愛着が湧きます。

コミュニケーション方法が多様化する時代だからこそ、持続可能な地域を思い描き、共有した上で、人と人とのつながりを大切にした行動をしていかなければなりません。私達は、人や地域を思い先導する者として、地域に暮らす人達を巻き込んだ地元を誇りに想える運動を展開してまいります。

【事業開催計画(案)】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
4月度例会	4月10日 (水曜日)	恵那市内	それぞれの想いを共有するために、地域の人とつながることを目的とする。	10,000
7月度例会	7月10日 (水曜日)	恵那市内	地域の魅力について知り、理解をより深めることを目的とする。	30,000
10月度例会 (事業)	10月12日 (土曜日)	恵那市内	地域の人を巻き込むことで、地域の魅力が共鳴することを目的とする。	390,000
事業費合計				430,000

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月15日 (水曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会活動方針について 年間スケジュールについて 職務分掌について 通常総会・新年祝賀会について
第2回予定者委員会	12月11日 (月曜日)	恵那市内	通常総会・新年祝賀会について 委員会活動方針について 京都会議について 会員拡大運動について
第1回委員会	1月8日 (月曜日)	恵那市内	京都会議について 2月度例会について 3月度例会について 会員拡大運動について
第2回委員会	2月5日 (月曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 4月度例会について 会員拡大運動について
第3回委員会	3月6日 (水曜日)	恵那市内	3月度例会について 4月度例会について 5月度例会について 会員拡大運動について
第4回委員会	4月8日 (月曜日)	恵那市内	4月度例会について 5月度例会について 6月度例会について 会員拡大運動について
第5回委員会	5月6日 (月曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会について 7月度例会について 会員拡大運動について

第6回委員会	6月6日 (木曜日)	恵那市内	6月度例会について 7月度例会について 8月度例会について 会員拡大運動について
第7回委員会	7月8日 (月曜日)	恵那市内	7月度例会について 8月度例会について 9月度例会（事業）について 会員拡大運動について
第8回委員会	8月5日 (月曜日)	恵那市内	8月度例会について 9月度例会（事業）について 10月度例会（事業）について 会員拡大運動について
第9回委員会	9月9日 (月曜日)	恵那市内	9月度例会（事業）について 10月度例会（事業）について 11月度例会について みのじのみり祭りについて 会員拡大運動について
第10回委員会	10月7日 (月曜日)	恵那市内	10月度例会（事業）について 11月度例会について 12月度例会について 会員拡大運動について
第11回委員会	11月4日 (月曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大運動について
第12回委員会	12月2日 (月曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大運動について

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

子供達が地域の課題を見つけ解決する人財に成長し活躍することで、恵那市は「明るい豊かな社会」を実現することができます。

そのような人財になるには、郷土愛を持つことが最も重要です。郷土愛を持って育てば、おのずと地域の一員となり地域のために行動することができます。

そのためには、地域の人々との出会いを増やし、地域になじむきっかけを創ることが必要です。人との出会いが生活圏を広げ、安心できる場所や愛着を持てる場所が増えることにより、郷土愛が育まれます。

子供達と出会い接する中で、良好な関係を築きお互いに尊重し合うことができれば、子供達は地域で自由な発想を持って力を発揮し、私達大人も新たな学びを得て「共に成長」していくことができます。

私達は、地域のため活躍できる人財に成長してもらえるよう、子供達に機会を提供し、大人も「共に成長」できる活動を展開してまいります。

【事業開催計画(案)】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
3月度例会	3月8日 (金曜日)	恵那市内	郷土愛への理解を深めることで、郷土愛を育む要因について学ぶことを目的とする。	10,000
6月度例会	6月10日 (月曜日)	恵那市内	「共に成長」するために、子供と大人の視点の違いを知ることを目的とする。	50,000
9月度例会	9月7日 (土曜日)	恵那市内	子供達が一步踏み出す機会を提供することで、「共に成長」することを目的とする。	370,000
事業費合計				430,000

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月29日 (水曜日)	恵那市内	委員会方針・職務分掌について 会員拡大運動について
第2回予定者委員会	12月13日 (水曜日)	恵那市内	委員会方針・事業計画について 通常総会・新年祝賀会について 京都会議について 会員拡大運動について
第1回委員会	1月17日 (水曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 会員拡大運動について
第2回委員会	2月15日 (木曜日)	恵那市内	3月度例会について 会員拡大運動について
第3回委員会	3月5日 (火曜日)	恵那市内	3月度例会について 4月度例会について 6月度例会について 会員拡大運動について
第4回委員会	4月17日 (水曜日)	恵那市内	3月度例会決算について 5月度例会について 6月度例会について 会員拡大運動について
第5回委員会	5月14日 (火曜日)	恵那市内	6月度例会について 会員拡大運動について
第6回委員会	6月5日 (水曜日)	恵那市内	6月度例会について 7月度例会について 9月度例会について 会員拡大運動について
第7回委員会	7月16日 (火曜日)	恵那市内	6月度例会決算について 9月度例会について 会員拡大運動について
第8回委員会	8月6日 (火曜日)	恵那市内	臨時総会について 9月度例会について 会員拡大運動について

第9回委員会	9月4日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会について 10月度例会について 会員拡大運動について みのじのみ祭りについて
第10回委員会	10月16日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会決算について 会員拡大運動について
第11回委員会	11月5日 (火曜日)	恵那市内	11月度例会について 会員拡大運動について
第12回委員会	12月4日 (水曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大運動について 次年度引継ぎについて

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

事務局の仕事とは、青年会議所に集う会員を想い、そして組織を想う事です。なぜなら、青年会議所の運動も地域に暮らす人々を想い、地域を想う事から始まると考えるからです。

事務局では、会員同士が互いを思い合い、協力・分担することで時間対価値を高める運営を目指します。青年会議所には多様な会員が在籍し、各々の貴重な時間を使い活動しています。時間対価値を最大限に高める事は、組織内で人を思い合い、会員一人ひとりが運動に意義を感じ高揚感を持って周囲に語り、その姿を見た身近な人々が運動を後押ししてくれる事で実現します。さらに、青年会議所が持続可能であり続けるためには伝統と進化が求められます。特に広報活動では、既存方法へのさらなる工夫と身近な人々の心に届くための新たな方法を発想力豊かに実現します。

事務局は会員一人ひとりが円滑に活動できるよう、会員同士を「思い合う」つながりを大切にしたい組織運営を体現してまいります。

【事業開催計画(案)】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
5月度例会	5月10日 (金曜日)	恵那市内	1人ひとりの繋がりを広げ組織力を深めることを目的とする	70,000
12月度例会	12月7日 (土曜日)	恵那市内	卒業生と現役役員とが想いを伝え合い、卒業生を感謝と敬意をもって送り出すことを目的とする。	150,000
情報発信 運用計画	通年	各種事業時	様々な手法を用いて、青年会議所の存在を対外に認知・共感いただくとともに、会員自身が能動的に情報発信を担う機会づくりを目的とする。	80,000
事業費合計				300,000

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月20日 (月曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会基本方針について 職務分掌について 年間スケジュールについて 通常総会・新年祝賀会について
第2回予定者委員会	12月13日 (水曜日)	恵那市内	委員会内役割分担について 通常総会・新年祝賀会について 会員拡大運動について
第1回委員会	1月10日 (水曜日)	恵那市内	2月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第2回委員会	2月7日 (水曜日)	恵那市内	3月度例会について 5月度例会について LOM内アカデミーについて 会員拡大運動について 情報発信について
第3回委員会	3月6日 (水曜日)	恵那市内	4月度例会について 5月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第4回委員会	4月8日 (月曜日)	恵那市内	5月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第5回委員会	5月8日 (水曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会・事業について LOM内アカデミーについて 会員拡大運動について 情報発信について

第6回委員会	6月7日 (金曜日)	恵那市内	5月度例会決算について 7月度例会について 東海フォーラムについて 会員拡大運動について 情報発信について
第7回委員会	7月8日 (月曜日)	恵那市内	臨時総会について 岐阜ブロック大会について 会員拡大運動について 情報発信について
第8回委員会	8月7日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会について みのじのみり祭について LOM内アカデミーについて 会員拡大運動について 情報発信について
第9回委員会	9月6日 (金曜日)	恵那市内	10月度例会・事業について 12月度例会について 全国大会について 会員拡大運動について 情報発信について
第10回委員会	10月8日 (火曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第11回委員会	11月8日 (金曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第12回委員会	12月5日 (木曜日)	恵那市内	12月度例会について 2024年度総括・引継ぎに ついて 会員拡大運動について 情報発信について

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

今後の恵那青年会議所を担う会員がなぜ恵那青年会議所の運動を行うのかを認識するためには一人ひとりがそれぞれ想いを見つけ、会員同士共有する必要があります。想いを共有すると組織内で共鳴が起こり、全員で想いに沿った運動を行うことができ、外部へ発信し続けることで、さらにこの共鳴の輪が広がると考えます。その想いに共鳴した新たな仲間が増えることで、恵那青年会議所はさらに飛躍できます。

また、アカデミーを通し、新入会員や対象者に青年会議所の理念を伝え、人財育成に努めます。基礎知識学習、恵那青年会議所の歴史や先輩諸氏の想いを引き継ぐことで、理念を理解し、なぜ自分自身が恵那青年会議所の運動を行うかの答えを導き出すことが、人財成長を促し、恵那青年会議所がより強固な組織へと発展していきます。

会員拡大・人財の成長は全員の協力なくして成功できません。一年間を通して人財の成長・想いに共鳴した仲間づくりに尽力いたします。

【事業開催計画(案)】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
会員拡大運動	通年	恵那市内	私達の想いに共鳴した仲間づくりを目指し、入会いただくことを目的とする。	0
LOM内アカデミー	3月 6月 8月	恵那市内	LOM内アカデミー対象者が理念を理解し、会員の下地を作ることで成長することを目的とする。	0
事業費合計				0

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月20日 (月曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会基本方針について 職務分掌について 年間スケジュールについて 通常総会・新年祝賀会について
第2回予定者委員会	12月13日 (水曜日)	恵那市内	委員会内役割分担について 通常総会・新年祝賀会について 会員拡大運動について
第1回委員会	1月10日 (水曜日)	恵那市内	2月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第2回委員会	2月7日 (水曜日)	恵那市内	3月度例会について 5月度例会について LOM内アカデミーについて 会員拡大運動について 情報発信について
第3回委員会	3月6日 (水曜日)	恵那市内	4月度例会について 5月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第4回委員会	4月8日 (月曜日)	恵那市内	5月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第5回委員会	5月8日 (水曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会・事業について LOM内アカデミーについて 会員拡大運動について 情報発信について

第6回委員会	6月7日 (金曜日)	恵那市内	5月度例会決算について 7月度例会について 東海フォーラムについて 会員拡大運動について 情報発信について
第7回委員会	7月8日 (月曜日)	恵那市内	臨時総会について 岐阜ブロック大会について 会員拡大運動について 情報発信について
第8回委員会	8月7日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会について みのじのみり祭について LOM内アカデミーについて 会員拡大運動について 情報発信について
第9回委員会	9月6日 (金曜日)	恵那市内	10月度例会・事業について 12月度例会について 全国大会について 会員拡大運動について 情報発信について
第10回委員会	10月8日 (火曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第11回委員会	11月8日 (金曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大運動について 情報発信について
第12回委員会	12月5日 (木曜日)	恵那市内	12月度例会について 2024年度総括・引継ぎに ついて 会員拡大運動について 情報発信について

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

2024年度 担当監事割り表

監事	加藤 健二 ・青少年共育委員会
監事	山田 浩誠 ・事務局 ・会員拡大・アカデミー実行委員会
監事	後藤 知裕 ・地域デザイン委員会 ・執行部

2024年度 クラブキャプテン名簿

サッカー部	橋本 朋和
野球部	西尾 純平
じゃがいも	瀬瀬 駿

一般社団法人恵那青年会議所 2024年度委員会及び理事長直轄室職務分掌

1. 地域デザイン委員会

- (1) 地域デザイン事業の実施
- (2) 会員拡大運動の実施
- (3) (一社) 恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (4) その他

2. 青少年共育委員会

- (1) 青少年事業の実施
- (2) 会員拡大運動の実施
- (3) (一社) 恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (4) その他

3. 事務局

- (1) 組織力向上の実施
- (2) 卒業例会の実施
- (3) 諸会議の設営、運営、庶務（財務、コンプライアンス審査含む）
- (4) 諸会議における会議資料の作成、チェック及び取りまとめ
- (5) 基本資料の作成
- (6) 臨時総会の設営、運営
- (7) 会員拡大運動の実施
- (8) (一社) 恵那青年会議所の広報記録活動
- (9) (一社) 恵那青年会議所の総務及び財務に関する一切
- (10) (一社) 恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (11) その他

4. 執行部

- (1) 総会の開催
- (2) 理事長直轄室の支援
- (3) 会員拡大運動の実施
- (4) (一社) 恵那青年会議所の運営に関する一切
- (5) その他

5. 会員拡大・アカデミー実行委員会

- (1) 会員拡大運動の推進及び実施
- (2) LOM内アカデミーの開催
- (3) BCアカデミー委員会との連携
- (4) その他

6. まつり連絡調整室

- (1) みのじのみり祭実行委員会との連携・連絡・運営の一切
- (2) その他

一般社団法人恵那青年会議所 正味財産増減計画予算書
2024年1月1日から2024年12月31日まで

作成 2023年12月22日

科目名	2024年度 第一次補正予算(案)	2024年度 予算(案)	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	0	0	0	
特定資産利息	(0)	(0)	(0)	
② 受取会費	3,930,000	3,570,000	360,000	
正会員会費	3,480,000	3,120,000	360,000	
基本金	(2,880,000)	(2,880,000)	(0)	120,000*24名
新入会員(中山 達貴)	(120,000)	(0)	120,000	
新入会員(越智 俊行)	(120,000)	(0)	120,000	
新入会員(沖村 瑠璃)	(120,000)	(0)	120,000	
準会員会費	(240,000)	240,000	(0)	120,000*2名
2024年付加金(入会金)	(0)	(0)	(0)	
2024年付加金(事業資金)	(0)	(0)	(0)	
特別会員会費	(90,000)	90,000	(0)	30,000*3名(2023年度卒業生)
賛助会員会費	360,000	360,000	0	
個人	(0)	(0)	(0)	10,000*0名(2023年度)
法人	(360,000)	(360,000)	(0)	30,000*12名(2024年度)
③ 事業収益	0	0	0	
事業繰入収益	(0)	(0)	(0)	
登録料収益①	(0)	(0)	(0)	
登録料収益②	(0)	(0)	(0)	
登録料収益	(0)	(0)	(0)	
懇親会収益	(0)	(0)	(0)	
広告料収益	(0)	(0)	(0)	
販売収益	(0)	(0)	(0)	
預り金収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	(0)	(0)	(0)	JCIカード/スマイル
④ 受取補助金等	0	0	0	
国庫補助金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体補助金	(0)	(0)	(0)	
補助金等交付業務受託金	(0)	(0)	(0)	
国庫助成金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体助成金	(0)	(0)	(0)	恵那市助成金(栗フェス)
民間助成金	(0)	(0)	(0)	O B会事務手数料
⑤ 受取負担金	0	0	0	
受取負担金	(0)	(0)	(0)	
⑥ 受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	(0)	(0)	(0)	
受取募金	(0)	(0)	(0)	
⑦ 雑収益	0	0	0	
受取利息収益	(0)	(0)	(0)	
その他雑収益	(0)	(0)	(0)	
⑧ 他会計からの繰入金		0	0	
日本J C本体会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・ブロック協議会からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
他会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
経常収益計	3,930,000	3,570,000	360,000	
(2) 経常費用				
① 事業費	1,373,000	1,233,000	140,000	
事業費	1,373,000	1,233,000	140,000	
執行部	(73,000)	73,000	(0)	
地域デザイン委員会	(450,000)	430,000	(20,000)	
青少年共育委員会	(450,000)	430,000	(20,000)	
事務局	(400,000)	300,000	(100,000)	
会員拡大・アカデミー実行委員会	(0)	(0)	(0)	
委員会運営費	(0)	(0)	(0)	
事業予備費	(0)	(0)	(0)	
② 管理費	1,526,000	1,586,000	△ 60,000	
会議費	(0)	(0)	(0)	理事会 (@3,850×16回)
給料手当	(0)	(0)	(0)	
俸給	(0)	(0)	(0)	
手当	(0)	(0)	(0)	
臨時雇用賃金	(0)	(0)	(0)	
退職給付手当	(0)	(0)	(0)	
福利厚生費	(0)	(0)	(0)	
法定福利費	(0)	(0)	(0)	
福利費	(0)	(0)	(0)	
厚生費	(0)	(0)	(0)	
旅費交通費	(150,000)	100,000	(50,000)	
通信運搬費	(170,000)	170,000	(0)	
電話代	(80,000)	80,000	(0)	
運搬代	(0)	(0)	(0)	
その他通信費	(90,000)	90,000	(0)	十六銀行銀行データ通信費、FAX、電報
減価償却費	(0)	(0)	(0)	
図書・研修費	(0)	(0)	(0)	

科 目 名	2024年度 第一次補正予算 (案)	2024年度 予算 (案)	増 減	備 考
消耗品費	(100,000)	(10,000)	(90,000)	
リース料	(0)	(0)	(0)	
修繕費	(0)	(0)	(0)	
印刷製本費(基本資料)	(0)	(0)	(0)	
光熱水料	(0)	(0)	(0)	
賃借料	(726,000)	(726,000)	(0)	55,000*12 5,500*12
業務委託費	(155,000)	(155,000)	(0)	ホームページ管理委託費、登記委託料
保険料	(0)	(0)	(0)	
租税公課	(30,000)	(30,000)	(0)	法人県民税
固定資産税	(0)	(0)	(0)	
その他の租税公課	(30,000)	(30,000)	(0)	
広告宣伝費	(0)	(0)	(0)	
渉外費	(100,000)	(300,000)	△ 200,000	慶弔費・渉外費
支払手数料	(30,000)	(30,000)	(0)	
雑費	(60,000)	(60,000)	(0)	理事長記念品費
管理・運営予備費	(5,000)	(5,000)	(0)	
③負担金	762,830	678,647	84,183	
日本JC会費JCI会費	(67,080)	(60,372)	(6,708)	36,608 (US\$13*172) *30名
日本JC会費基本金	(30,000)	(30,000)	(0)	50名まで 25名増加毎+15,000
日本JC会費附加金	(150,000)	(135,000)	(15,000)	5,000*30名
WE BELIEVE JCPress 購読料	(90,000)	(81,000)	(9,000)	3,000*30名
日本JC出向者負担金	(0)	(0)	(0)	
日本じゃがいもクラブ	(20,000)	(20,000)	(0)	
日本JC国際協力資金	(54,750)	(49,275)	(5,475)	365*5*30名
京都会議LOM登録料	(8,000)	(8,000)	(0)	
東海地区協議会 基本金負担金	(75,000)	(62,500)	(12,500)	2,500*30名
岐阜ブロック会費基本額	(18,000)	(10,000)	(8,000)	
岐阜ブロック会員附加金	(90,000)	(75,000)	(15,000)	3,000*30名
岐阜ブロック会費役員負担金	(0)	(0)	(0)	
岐阜ブロック会員大会負担金	(75,000)	(62,500)	(12,500)	2,500*30名
岐阜ブロック野球大会登録料	(20,000)	(20,000)	(0)	
岐阜ブロックサッカー大会登録料	(25,000)	(25,000)	(0)	
岐阜ブロックじゃがいも大会登録料	(10,000)	(10,000)	(0)	
わんぱく相撲ブロック大会負担金	(0)	(0)	(0)	
わんぱく相撲全国大会負担金	(0)	(0)	(0)	
全国JCサッカー大会登録料	(0)	(0)	(0)	
日韓親善協会	(0)	(0)	(0)	
中山道駅伝	(10,000)	(10,000)	(0)	
国際交流協会	(20,000)	(20,000)	(0)	
出向者への支援金	(0)	(0)	(0)	2023年度適用無
70周年記念事業への積立金	(0)	(0)	(0)	
④他会計への繰入金	0	0	0	
日本JC本体会計への繰入金	(0)	(0)	(0)	
消費税負担金	(0)	(0)	(0)	
外部監査負担金	(0)	(0)	(0)	
会計ソフト負担金	(0)	(0)	(0)	
その他繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・ブロック協議会への繰入金	(0)	(0)	(0)	
経常費用計	3,661,830	3,497,647	164,183	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	268,170	72,353	195,817	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
①固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益	(0)	(0)	(0)	
構築物売却益	(0)	(0)	(0)	
什器備品売却益	(0)	(0)	(0)	
②固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
①固定資産売却損	0	0	0	
②固定資産除却損	0	0	0	
什器備品除却損	(0)	(0)	(0)	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	268,170	72,353	195,817	
一般正味財産期首残高	2,707,436	2,081,089	626,347	
一般正味財産期末残高	2,975,606	2,153,442	822,164	
II 指定正味財産増減の部				
①固定資産受贈益	0	0	0	
②基本財産評価益	0	0	0	
③特定資産評価益	0	0	0	
④基本財産評価損	0	0	0	
⑤特定資産評価損	0	0	0	
⑥一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,975,606	2,153,442	822,164	

科 目 名	2024年度 第一次補正予算 (案)	2024年度 予算 (案)	増 減	備 考
-------	-----------------------	------------------	-----	-----

2023年度期末残高

正味財産期首残高 (内訳)	一般会計	569,297
	事業費予備費	0
		0
	周年準備金	2,138,139
貸借対照表参照 2023年12月31日 (現在)	合計	2,707,436

2023年度第2次補正時

	569,297
	0
	0
	1,511,792
	2,081,089

一般社団法人恵那青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和33年5月10日
認定番号第145号

スポンサー J C 一般社団法人中津川青年会議所

初	代理事長	昭和33年	中神 友彦	(株)丸河興業
二	代理事長	昭和34年	中神 友彦	(株)丸河興業
三	代理事長	昭和35年	中神 友彦	(株)丸河興業
四	代理事長	昭和36年	安藤 健一	(株)土田屋呉服店
五	代理事長	昭和37年	安藤 健一	(株)土田屋呉服店
六	代理事長	昭和38年	古田 忠好	
七	代理事長	昭和39年	阿部 龍輔	セントラル建設(株)
八	代理事長	昭和40年	中山銀次郎	東濃魚菜(株)
九	代理事長	昭和41年	鈴木銀之助	カクト本店
十	代理事長	昭和42年	三島 充	
十一	代理事長	昭和43年	松井 栄一	(株)菊水堂
十二	代理事長	昭和44年	山田 基	(株)マル五鐵構
十三	代理事長	昭和45年	近藤 時夫	近藤電気工業(株)
十四	代理事長	昭和46年	小嶋 洋平	(有)菊屋
十五	代理事長	昭和47年	熊崎 健一	
十六	代理事長	昭和48年	荒川 昇	
十七	代理事長	昭和49年	中山 義幸	
十八	代理事長	昭和50年	丸山 朝夫	(株)マルヤ
十九	代理事長	昭和51年	永屋 俊幸	(有)フジ
二十	代理事長	昭和52年	原 謙司	
二十一	代理事長	昭和53年	市川 賛平	恵那醸造(株)
二十二	代理事長	昭和54年	安藤 和雄	(有)賀藤
二十三	代理事長	昭和55年	佐藤 忠男	大東京火災海上保険代理店
二十四	代理事長	昭和56年	加藤 孝長	ヤマトヤ
二十五	代理事長	昭和57年	青山 貫禅	(株)青山
二十六	代理事長	昭和58年	小澤 隆徳	ダスキン恵那
二十七	代理事長	昭和59年	館林 正孝	(株)館林
二十八	代理事長	昭和60年	田中 義人	東海新栄電子工業(株)
二十九	代理事長	昭和61年	木藤 修	(株)中建
三十	代理事長	昭和62年	市川 康夫	市川康夫会計事務所
三十一	代理事長	昭和63年	山本 恵嗣	山本石油(株)
三十二	代理事長	平成 元年	岩本 哲臣	(株)岩本
三十三	代理事長	平成 2年	市川 雅敏	中部観光(株)
三十四	代理事長	平成 3年	金子 一弘	金子建築工業(株)
三十五	代理事長	平成 4年	西山 昌幸	西山建設(株)
三十六	代理事長	平成 5年	阿部伸一郎	セントラル建設(株)
三十七	代理事長	平成 6年	可知 照章	(株)エミ
三十八	代理事長	平成 7年	岩井 慶次	(有)centwave.com
三十九	代理事長	平成 8年	水野 勝	
四十	代理事長	平成 9年	阿部 護	セントラル建設(株)
四十一	代理事長	平成10年	柘植 孝彦	(有)柘植建設
四十二	代理事長	平成11年	小林 稔	(有)清進堂

一般社団法人恵那青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和 33 年 5 月 10 日

認定番号第 145 号

スポンサー J C 一般社団法人中津川青年会議所

四十三	代理事長	平成 1 2 年	脇田 誠	(有)ベスト飲料
四十四	代理事長	平成 1 3 年	小林 浩司	(株)リード
四十五	代理事長	平成 1 4 年	丸山大八郎	(株)マルヤ
四十六	代理事長	平成 1 5 年	高木 應浩	東栄製紙工業(株)
四十七	代理事長	平成 1 6 年	山内 敏敬	(有)ヤマウチ
四十八	代理事長	平成 1 7 年	有賀 正典	
四十九	代理事長	平成 1 8 年	大野 幸泰	(株)大野工機
五十	代理事長	平成 1 9 年	木下 晃一	(有)木下建材工業
五十一	代理事長	平成 2 0 年	篠田 大作	(有)シノダック
五十二	代理事長	平成 2 1 年	渡辺 好作	(株)銀しゃり本舗
五十三	代理事長	平成 2 2 年	安藤 潤也	安藤鉄工(株)
五十四	代理事長	平成 2 3 年	板頭 拡志	ミリオン電工(株)
五十五	代理事長	平成 2 4 年	加藤 規久	(株)東海技研
五十六	代理事長	平成 2 5 年	吉村 将明	吉村産業(株)
五十七	代理事長	平成 2 6 年	河原 三次	(株)丸河興業
五十八	代理事長	平成 2 7 年	田口 勝一	(株)エナ重機
五十九	代理事長	平成 2 8 年	山本 英史	(株)山本急行
六十	代理事長	平成 2 9 年	市川 直樹	中部観光(株)
六十一	代理事長	平成 3 0 年	西山 陽祐	西山建設(株)
六十二	代理事長	平成 3 1 年	藤下 卓己	(株)デジタ
六十三	代理事長	令和 2 年	小栗 康裕	オグリ電子(株)
六十四	代理事長	令和 3 年	後藤 知裕	(株)ごとう観光
六十五	代理事長	令和 4 年	藤井 真也	(同)おひさま
六十六	代理事長	令和 5 年	越智 信行	(有)恵那冷機
六十七	代表理事	令和 6 年	保母 達則	(株)アイギハウジング

社団法人恵南青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和 39 年 3 月 29 日
認定番号第 286 号

初	代理事長	昭和 4 0 年	松井 高志	(株)丸ス松井材木店
二	代理事長	昭和 4 1 年	松井 高志	(株)丸ス松井材木店
三	代理事長	昭和 4 2 年	横田 隆司	明知製陶(株)
四	代理事長	昭和 4 3 年	加藤 稔	(株)加藤材木店
五	代理事長	昭和 4 4 年	味岡蓮太郎	
六	代理事長	昭和 4 5 年	川村 達也	川村工務店
七	代理事長	昭和 4 6 年	梅村 哲郎	明知製陶(株)
八	代理事長	昭和 4 7 年	成瀬 郁夫	成瀬電気商会
九	代理事長	昭和 4 8 年	和田 光男	明智鋳業(株)
十	代理事長	昭和 4 9 年	横田 晴彦	(有)エーピーエフ
十一	代理事長	昭和 5 0 年	平林 利一	明栄建設工業(株)
十二	代理事長	昭和 5 1 年	奥田 隆一	オクダ時計店
十三	代理事長	昭和 5 2 年	三宅 均	(株)ヤマサ三宅材木店
十四	代理事長	昭和 5 3 年	西尾 和郎	丸上寒天産業(株)
十五	代理事長	昭和 5 4 年	松井 真	(株)丸ス松井材木店
十六	代理事長	昭和 5 5 年	小木曾琢二	マルコ醸造(株)
十七	代理事長	昭和 5 6 年	成瀬 恭平	高成化学鋳業(有)
十八	代理事長	昭和 5 7 年	吉村 典男	吉村産業(株)
十九	代理事長	昭和 5 8 年	春日井正章	山平鋳業(株)
二十	代理事長	昭和 5 9 年	伊藤 敏一	伊藤繁一商店
二十一	代理事長	昭和 6 0 年	遠山 哲雄	遠山材木店
二十二	代理事長	昭和 6 1 年	加藤 正波	丸美礦業(株)
二十三	代理事長	昭和 6 2 年	味岡 真治	アジオカ電気店
二十四	代理事長	昭和 6 3 年	伊藤 誠紀	(株)伊藤商会
二十五	代理事長	平成 元年	堀 泰明	(有)明智給油所
二十六	代理事長	平成 2 年	水野 良則	(有)銭坂畜産
二十七	代理事長	平成 3 年	伊藤 辰也	とうふのつねさ
二十八	代理事長	平成 4 年	三宅 秀明	三宅畳店
二十九	代理事長	平成 5 年	西尾 修欣	ライフエナジー山岡(株)
三十	代理事長	平成 6 年	桜井 義等	朝日屋
三十一	代理事長	平成 7 年	加藤 博靖	丸カ耐火工業(株)
三十二	代理事長	平成 8 年	加藤 博史	(株)加藤材木店
三十三	代理事長	平成 9 年	木村 典彦	丸八製材(株)
三十四	代理事長	平成 1 0 年	川村 慎二	川村工務店
三十五	代理事長	平成 1 1 年	岡村 英治	岡村司法書士事務所
三十六	代理事長	平成 1 2 年	小木曾康裕	カネイ産業(株)
三十七	代理事長	平成 1 3 年	藤本 勝彦	(有)藤本商店
三十八	代理事長	平成 1 4 年	西尾 健志	(有)山栄
三十九	代理事長	平成 1 5 年	堀井 宣良	岩村城址観光(株)岩村山荘
四十	代理事長	平成 1 6 年	成瀬 一	(有)成瀬電気商会
四十一	代理事長	平成 1 7 年	佐々木淳二	榊五寒天商会
四十二	代理事長	平成 1 8 年	成瀬 泰久	(有)高木クレール研究所